

日本小児泌尿器科学会（2024年） 優秀論文賞 症例部門

A case of solitary kidney and single-system entopic ectopic ureter draining into the vestibule in an infant with Müllerian duct defect: Was the bladder missing?

大嶋 浩一（大阪母子医療センター 泌尿器科）

この度は、誠に荣誉ある優秀論文賞（症例部門）を賜り、心より感謝申し上げます。ご審査いただきました先生方、ならびに関係者の皆様に、深く御礼申し上げます。

本症例はミュラー管欠損症を伴う単腎の単一異所開口尿管でした。異所性尿管が尿生殖洞由来の膈に開口していたことから、蓄尿機能を持たない著しい低形成膀胱でしたが、段階的な手術を経て、良好な排尿機能を獲得することができました。

本症例においては、胎児期より羊水過少は見られず、腎機能も良好に保たれておりました。単一尿管や両側異所性尿管、単腎における異所性尿管症例では、開口部が外尿道括約筋以遠に存在する重症例において、膀胱無発生や低形成を伴うことが報告されており、また重度の先天性腎機能障害が合併することも多く、予後が不良な場合が少なくありません。しかし、本症例では排尿機能の獲得と腎機能の維持が達成されました。異所性尿管の開口部が膀胱頸部や尿道に与える影響やいわゆる「Bud theory」といった発生学的観点が疾患理解のために重要であり、この症例を通じて、小児先天性疾患の奥深さや小児領域における成長を見越した治療の重要性を改めて認識することができました。

最後に、この場をお借りして、日々の診療の中で多大なご指導を賜り、論文作成においてもご助力いただきました大阪母子医療センターの松井太先生、松本富美先生に心より感謝申し上げます。今後ともご指導、ご鞭撻のほど何卒宜しくお願い致します。